

NPO法人 須賀川トランポリン協会（認証申請中）



NPO法人 須賀川トランポリン協会（認証申請中）
理事長 飯塚 馨さん

私どもアシストパーク郡山が、NPO法人設立認証申請にかかる相談を受けた団体の中から、現在設立認証申請中である、NPO法人 須賀川トランポリン協会理事長の飯塚馨さんにお話を伺いました。

アシストパーク郡山（以下、「センター」）

震災前からNPO法人を設立しようとされていたそうですが、大変だったことやこれまでのことなどを聞かせてください。

飯塚さん 諸々準備を進めていくなかで、2011年3月、東日本大震災が起きました。震災後しばらくは福島県の窓口では相談対応ができなく、準備も頓挫してしまいました。11月になってようやく窓口へ伺うことができ、それからNPO法人の設立準備を再開しました。今年の4月1日からは、アシストパーク郡山を相談窓口として利用してきました。これまでは県庁まで行かねばならなかったのが郡山市役所までの移動で済み、とても助かります。

震災後は郡山市や須賀川市の総合体育館が使えませんでしたので、仲間とトランポリンを車に積んであちこち移動して活動しました。本当に大変な思いをしました。その時期お世話になったのが、リステル猪苗代さんでした。スキー競技選手の練習がない時に、トランポリン設備を使わせていただいた訳です。私たちの拠点が使えない時期でしたので、そのご厚意には感謝しても感謝しきれません。

今後公益的な活動で力を入れたい事業のひとつに、スポーツフェスタやイベントに参加していきたいということがあります。震災後の原発事故の影響でなかなか外で遊べない子どもたちために、人気のあるトランポリンを屋内アトラクションとして遊べる機会を、もっと増やしていきたいんです。皆、大喜びで遊んでくれますから。私たちの活動が、こうした地域課題の解決にお役に立てればと思っています。

私たちの大きな特徴は、スタッフ全員がトランポリンの専門家だということです。技術や安全面など、さまざまな専門的視点でサポートできますので、私たちが参加したイベントはお陰様で大変好評をいただいております。



センター なるほど。どんな人が付き添っているか分からないようなアトラクションとは、一線画しますね。専門家がいることで、親御さんはとても安心できると思います。

飯塚さん そうですね、「専門家が付き添っている」というのは大きな安心に繋がると思います。

これまで会員の善意と手弁当で行ってきた活動を、今後はNPO法人として経営基盤も含めて力をつけて、継続していきたいと考えています。これからも、どんどん子どもたちを笑顔にしていきます。

センター 最後に、私どもアシストパーク郡山スタッフの対応について、良かった点や悪かった点を教えて下さい。今後の窓口対応に活かしていきたいので、お願いします。

飯塚さん 郡山市への認証申請書類提出の前に、指摘・指導していただきましたが、文言の訂正など書類提出後に幾つか指摘・指導がありました。こうした点を踏まえ、認証申請書類の作成対応の正確性を増して欲しいなと思います。

また、今後はNPO法人の会計に関する相談でまたお世話になりたいと思っています。

ご意見・ご指導ありがとうございます。これからもサービスの質の向上に努めて参ります。本日はお忙しいところ、取材へのご協力誠にありがとうございました。



サークル活動の皆さん、明るい笑顔が最高でした。